

「しが CO₂ ネットゼロみらい賞」
(先進導入・実践部門) 応募書

CO ₂ ネットゼロ推進課使用欄			
受理	令和	年	月 日
番号			

記入日 令和 年 月 日

(宛先)

滋賀県 総合企画部 CO₂ ネットゼロ推進課提出者 (自薦) ・ 他薦)

※該当する方を○で囲ってください。

住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)

滋賀県○○○○○○○○

氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)

○○○○○○株式会社

代表取締役○○○○

「しが CO₂ ネットゼロみらい賞」に下記のとおり応募します。

1 応募する事業所について

事業所の名称	○○○○○○株式会社		
事業所の所在地	〒○○○-○○○ 滋賀県○○○○○○○○		
業種	○○業		
事業規模	従業員等の数	○,○○○	人
	資本金等の額	○,○○○	万円
担当者 連絡先	部署名	○○○部 ○○○課	
	担当者名	○○○○	
	電話番号	○○○-○○○-○○○○	
	FAX 番号	○○○-○○○-○○○○	
	電子メール	○○○@○○○○○○	
「しが CO ₂ ネットゼロムーブメント」 の取組への賛同状況		下記の該当欄に○をつけてください。	
		賛同済み	賛同手続中
これまでの受賞歴 (該当がある場合)		なし	
要件等 チェック欄	☐ 滋賀県内の事業活動において先進的な設備の導入や創意工夫を凝らした省エネの実践等により、CO ₂ 排出量を削減する取組です。 ☐ 過去に同賞および「滋賀県低炭素社会づくり賞」、「しが発低炭素ブランド認定」の受賞・認定歴がない事業所、もしくは、前回の受賞・認定内容以外の取組において		

	応募するものです。 ☐ 応募する事業所は、以下のいずれにも該当しません。県が必要と認める場合には、滋賀県警察本部に照会することを承諾します。 ア 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。イにおいて「暴対法」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。） イ 暴力団員（暴対法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。） ウ 自己もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を与える目的をもって、暴力団または暴力団員を利用している者 エ 暴力団または暴力団員に対して資金等を供給し、または便宜を供与する等直接的もしくは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、または関与している者 オ 暴力団または暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者 カ アからオまでのいずれかに該当する者であることを知りながら、これを不当に利用するなどしている者 ☐ 他薦の場合、予め被推薦者から推薦について了承を得ました。（自薦の場合、チェック不要）
--	---

2 応募要件（削減実績）について

令和6年度（2024年度）の温室効果ガス排出量等の削減実績について、以下のいずれか1つを満たしている場合に応募いただけます。（いずれか1つを選択してください。）				
☐	前年度と比較して温室効果ガス排出量が減少している。			
	令和5年度排出量	t-CO ₂	令和6年度排出量	t-CO ₂
☒	前年度と比較してエネルギー使用量が減少している。			
	令和5年度使用量	kL(原油換算)	令和6年度使用量	kL(原油換算)
☐	前年度と比較してエネルギー原単位が減少している。			
	令和5年度原単位		令和6年度原単位	
	原単位の考え方 (計算式を記入)	エネルギー原単位 = $\frac{(\quad)}{(\quad)}$		
	※分母と分子に設定した値（項目）がわかるように記載すること。			
	※事業所ごとに複数の分母を設定している場合 (例：事務所では延べ面積、工場では生産数量を設定)はその旨を記載すること。	エネルギー原単位とは、エネルギー使用量をエネルギー使用量と密接な関係を持つ値で除した値をいいます。 $\text{エネルギー原単位} = \frac{\text{エネルギー使用量（原油換算KL等）}}{\text{エネルギー使用料と密接な関係を持つ量（生産量、出荷額、延べ床面積等）}}$		

3 取組内容について

取組の アピールポイント (キャチコピー) 等	記入例（あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。） 業界初！〇〇の製造によるCO₂削減への貢献
① 削減効果の考え方 (複数の取組をされている場合は、取組ごとに削減効果を記入してください)	(削減につながった取組内容を具体的に記入してください。CO₂排出削減量、算定の過程等を記入してください。取組が複数ある場合は、<u>取組ごとに</u>記入してください。) 記入例（あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。） 〇〇の製造・販売を行っており、〇〇を推進している。 (取組1) <削減効果：〇〇 t-CO₂ (kL(原油換算)) > 従来の〇〇を〇〇することにより…。 これにより年間の削減効果は〇〇 t-CO₂ (kL(原油換算))。 <u>(別添1)</u> <u>※必要に応じて、算定の過程等が分かる資料を添付してください。</u> (取組2) <削減効果：〇〇 t-CO₂ (kL(原油換算)) > 〇〇を〇〇することにより…、年間の削減効果は〇〇 t-CO₂ (kL(原油換算))。 <u>※削減効果を試算できない取組についても、特筆すべき点があれば、併せてご記入ください。</u>

② 独自性 ・先進性	(取組等の独自性・先進性について記入してください。) 記入例 (あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。) 〇〇を〇〇している点が最大の特色。 県内(業界)初となる〇〇を実施。 既存の〇〇に加え、独自に〇〇を展開、推進。 びわ湖カーボンプレジットによる〇〇を実施。			
③ 全社的な 取組状況	(組織的・全社的な取組等について記入してください。) 記入例 (あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。) 〇年〇月、〇〇宣言を表明。 省エネやごみの減量化に向けて、〇〇を実施。 環境保全ボランティア等の活動。 社員研修として〇〇を実施。 CSR の取組として〇〇。			
④ 持続性	取組開始年度	年度～	取組継続年数	年
	(これまで日常的・継続的にどのような取組をしてきたか、また今後どのように持続的に展開していく予定なのか、記入してください。) 記入例 (あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。) 〇〇に基づき、〇〇を実施。 〇〇することにより、今後もこの取組の持続を期待。			
⑤ 汎用性 ・波及性	(他の事業所等への波及効果等について記入してください。) 記入例 (あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。) 〇〇を活用するため、〇〇するうえで大いに汎用性がある。 また、〇〇は多くの企業で〇〇ことから、大いに波及性がある。			
備考 (該当があれば)	(添付資料名や活動内容が掲載された HP のリンク等を記入してください。) 記入例 (あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。) 【別添1】〇〇.xlsx 【別添2】〇〇.pdf 〇〇リーフレット			

注 取組のアピールポイントを具体的に記載してください。

削減実績やキャッチコピー等は、表彰後にガイドブック等で紹介する際に使用しますので、それを念頭に記載してください。

記入欄が足りないときは、枠を広げて記入することや、図表や資料または写真を添付することができます。

(ただし、当応募書(添付資料を除く)は4頁までとします。)

また、必要に応じて、追加資料の提出をお願いする場合がございますので、予めご了承ください。

「しがCO₂ネットゼロみらい賞」

様式2

(製品・サービス部門) 応募書

CO ₂ ネットゼロ推進課使用欄	
受理	令和 年 月 日
番号	

記入日 令和 年 月 日

(宛先)

滋賀県 総合企画部CO₂ネットゼロ推進課

提出者 (自薦 ・ 他薦)

※該当する方を○で囲ってください。

住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)

滋賀県○○○○○○○○

氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)

○○○○○○株式会社

代表取締役○○○○

「しがCO₂ネットゼロみらい賞」に下記のとおり応募します。

1 応募する事業所について

事業所の名称	○○○○○○株式会社		
事業所の所在地	〒○○○-○○○○ 滋賀県○○○○○○○○		
業 種	○○業		
事業規模	従業員等の数	○,○○○	人
	資本金等の額	○,○○○	万円
担 当 者 先 連 絡 先	部 署 名	○○○部 ○○○課	
	担当者名	○○○○	
	電話番号	○○○-○○○-○○○○	
	FAX 番号	○○○-○○○-○○○○	
	電子メール	○○○@○○○○○○	
「しがCO ₂ ネットゼロムーブメント」 の取組への賛同状況		賛同済み	○
		賛同手続中	
これまでの受賞歴 (該当がある場合)	あり		

要件等 チェック欄	☐ 滋賀県内の事業活動において先進的な設備の導入や創意工夫を凝らした省エネの実践等により、CO ₂ 排出量を削減する取組です。 ☐ 過去に同賞および「滋賀県低炭素社会づくり賞」、「しが発低炭素ブランド認定」の受賞・認定歴がない事業所、もしくは、前回の受賞・認定内容以外の取組において応募するものです。 ☐ 応募する事業所は、以下のいずれにも該当しません。県が必要と認める場合には、滋賀県警察本部に照会することを承諾します。 ア 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。イにおいて「暴対法」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。） イ 暴力団員（暴対法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。） ウ 自己もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を与える目的をもって、暴力団または暴力団員を利用している者 エ 暴力団または暴力団員に対して資金等を供給し、または便宜を供与する等直接的もしくは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、または関与している者 オ 暴力団または暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者 カ アからオまでのいずれかに該当する者であることを知りながら、これを不当に利用するなどしている者 ☐ 他薦の場合、予め被推薦者から推薦について了承を得ました。（自薦の場合、チェック不要）
--------------	---

2 応募対象について

応募対象 (いずれか1つを選択)	☐ 製品 ☐ 技術（研究開発中のものを含む） ☐ 県内で提供するサービス		
製品・サービスの名称			
製品・サービスの アピールポイント (キャッチコピー) 等	記入例（あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。） 業界初！〇〇によるCO₂削減への貢献		
CO ₂ 排出削減の ポイント			
滋賀県との関わり			
「しがCO ₂ ネットゼロ ムーブメント」 の取組への賛同状況	下記の該当欄に○をつけてください。		
	賛同済み		賛同手続中

注 表彰後にガイドブック等で紹介する際に使用しますので、それを念頭に記載してください。

3 応募内容について

(1) 削減効果

記入例（あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。）

評価の対象・貢献 シナリオの概略	《貢献量を算定する対象の製品・サービスを記載》 住宅用断熱パネル（当社断熱材を使用した家屋における居住時の冷暖房効率の向上による削減貢献）				
① 貢献量 （削減効果） ※いずれか1つを 選択してください。	☒ 総量削減	143,553	t-CO ₂	60	年間
	☐ 原単位削減	(削減量と併せて、原単位の考え方を記入してください。)			

		エネルギー原単位とは、エネルギー使用量をエネルギー使用量と密接な関係を持つ値で除した値をいいます。 $\text{エネルギー原単位} = \frac{\text{エネルギー使用量（原油換算 KL 等）}}{\text{エネルギー使用料と密接な関係を持つ量（生産量、延べ床面積等）}}$
①-1 算定の過程 ※設定のない項目については、設定なしと記入してください。	1) 評価対象	《貢献量を算定する対象の製品・サービスを記載》 住宅用断熱材（パネル）
	2) 評価する範囲	《評価対象全体の貢献量を算定するのが一般的ですが、機種等が多岐にわたり算定が困難等の場合には特定機種に絞っての記載が可能です》 2011年度に滋賀工場で生産した断熱パネル全量
	3) 時間軸	《CO₂削減効果が発動する期間（貢献量を算定する期間）を記載。通常は製品寿命までの間で算定します》 60年（60年間居住すると仮定。）
	4) 使用先範囲	《貢献量を算定する範囲（算定に含める使用先範囲）を記載》 国内出荷分のみ
	5) ベースライン	《貢献量を算定する際の比較対象を記載》 一般木造住宅 （住宅の省エネ基準（断熱等性能等級2（S.55年基準相当）））
	6) 評価活動範囲	《ライフサイクルのどの段階の貢献量を記載するか記載》 使用段階（家庭）
	7) 寄与度の算定	（※部品・素材等の生産事業者のうち、最終製品全体の削減量を算定しており、最終製品の生産額に対する評価対象（部品・素材等）の生産額が把握できない場合、寄与度（最終製品の貢献量のうち生産した部品等が寄与した割合）の算出が必要です。） 《最終製品の貢献量のうち生産した部品等の寄与割合の算出が必要な場合に記載》 なし（断熱性向上による削減効果全体）
	8) 関連データの収集	《算定に必要となるデータの収集》 - 電力 1kWh 当たりの発熱量：9.76（MJ/kWh） - 電力の発熱量当たりの CO₂ 排出量：40.06（g-CO₂/MJ） - 都市ガス 1Nm³ 当たりの発熱量：41.1（MJ/Nm³） - 都市ガスの発熱量当たりの CO₂ 排出量：50.6（g-CO₂/MJ） 以上、建築協会の公表する CO₂ 排出原単位を使用。

①-2 貢献量の算出方法

以下の数式により算出

(一般木造住宅 1 棟当たりのCO₂排出量【②】－ 断熱材を使用した住宅 1 棟当たりのCO₂排出量【①】) × 製品寿命【③】 × 棟数【④】

	項目	数値
①	断熱材を使用した住宅 1 棟当たりのCO ₂ 排出量	4.1 (t-CO ₂ /年・棟)
②	一般木造住宅 1 棟当たりのCO ₂ 排出量	4.94 (t-CO ₂ /年・棟)
③	製品寿命	60 (年)
④	当年度 断熱材を出荷した家屋数	3,183 (棟)

以上により、住宅 1 棟当たりの削減量は、

⑤ 45.1 (t-CO₂/棟) 【計算式： (② － ①) × ③ × (0.970 － 0.075) ※】

県域での CO₂ 削減貢献量

143,553 (t-CO₂) 【 ④ × ⑤ 】

※省エネ基準 等級 4 と等級 2 の棟数割合差の調整

(2) その他の評価項目

② 独自性・先進性	(当該製品等の独自性・先進性について記入してください。) 記入例 (あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。) 〇〇を〇〇している点が最大の特色。 県内 (業界) 初となる〇〇を実施。 既存の〇〇に加え、独自に〇〇を展開、推進。 びわ湖カーボンプレジットによる〇〇を実施。			
③ 全社的な取組状況	(組織的・全社的な取組等について記入してください。) 記入例 (あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。) 〇年〇月、〇〇宣言を表明。 省エネやごみの減量化に向けて、〇〇を実施。 環境保全ボランティア等の活動。 社員研修として〇〇を実施。 CSR の取組として〇〇。			
④ 持続性	取組開始年度	年度～	取組継続年数	年
	(これまで日常的・継続的にどのような取組をしてきたか、また今後どのように持続的に展開する予定か、記入してください。) 記入例 (あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。) 〇〇に基づき、〇〇を実施。 〇〇することにより、今後もこの取組の持続を期待。			
⑤ 汎用性・波及性	(製品等の社会への波及効果等について記入してください。) 記入例 (あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。) 〇〇を活用するため、〇〇するうえで大いに汎用性がある。 また、〇〇は多くの企業で〇〇ことから、大いに波及性がある。			

その他 (該当があれば)	(上記のほか、アピールしたいポイントなど、自由に記入してください。)
備 考 (該当があれば)	(添付資料名や活動内容が掲載された HP のリンク等を記入してください。) 記入例（あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。） 【別添1】〇〇.xlsx 【別添2】〇〇.pdf 〇〇リーフレット

注 記入欄が足りないときは、欄を追加して記入することや、図表や資料または写真を添付することができます。

（ただし、当応募書（添付資料を除く）は5頁までとします。）

また、必要に応じて、追加資料の提出をお願いする場合がございますので、予めご了承ください。

「しが CO₂ ネットゼロみらい賞」
(地域づくり部門 事業者・団体用) 応募書

CO ₂ ネットゼロ推進課使用欄			
受理	令和	年	月 日
番号			

記入日 令和 年 月 日

(宛先)

滋賀県 総合企画部 CO₂ ネットゼロ推進課提出者 (自薦 ・ 他薦)

※該当する方を○で囲ってください。

住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)

滋賀県○○○○○○○○

氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)

○○○○○○

○○○○

「しが CO₂ ネットゼロみらい賞」に下記のとおり応募します。

1 応募する事業所または団体について

事業所または団体の名称	○○○○○○株式会社		
事業所または団体の所在地	〒○○○-○○○ 滋賀県○○○○○○○○		
担 当 者 連 絡 先	部 署 名	○○○部 ○○○課	
	担当者名	○○○○	
	電話番号	○○○-○○○-○○○○	
	FAX 番号	○○○-○○○-○○○○	
	電子メール	○○○@○○○○○○	
活 動 人 員	事務局／担当	○○名	主な活動地域
	参加者	○○○名	
企業の構成・事業内容等	(企業の概要や活動内容等を記入してください。)		

ウェブサイト、SNS など				
「しがCO ₂ ネットゼロムーブメント」の取組への賛同状況		下記の該当欄に○をつけてください。		
		賛同済み	○	賛同手続中
これまでの受賞歴 (該当がある場合)		なし		
要件等 チェック欄	☐ CO ₂ ネットゼロ社会づくりを推進するための、事業者※が行う環境学習・普及啓発等の取組です。(※CSR の取組に限る) ☐ 過去に同賞および「滋賀県低炭素社会づくり賞」、「しが発低炭素ブランド認定」の受賞・認定歴がない事業所、もしくは、前回の受賞・認定内容以外の取組において応募するものです。 ☐ 応募する事業所は、以下のいずれにも該当しません。県が必要と認める場合は、滋賀県警察本部に照会することを承諾します。 ア 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。イにおいて「暴対法」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。） イ 暴力団員（暴対法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。） ウ 自己もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を与える目的をもって、暴力団または暴力団員を利用している者 エ 暴力団または暴力団員に対して資金等を供給し、または便宜を供与する等直接的もしくは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、または関与している者 オ 暴力団または暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者 カ アからオまでのいずれかに該当する者であることを知りながら、これを不当に利用するなどしている者 ☐ 他薦の場合、予め被推薦者から推薦について了承を得ました。(自薦の場合、チェック不要)			

2 応募内容（活動実績）について

活動の名称	○○○○○○○○○○
活動の アピールポイント (キャチコピー) 等	記入例（あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。） 地域の○○を活用した○○の推進
① CO ₂ ネットゼロ社会づくりへの貢献	(しがCO ₂ ネットゼロ社会の実現に向けて、どのように貢献しているかという視点から、実践的な活動の期間および範囲等具体的な活動内容、実施頻度や参加人数などを記入してください) 記入例（あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。） ○○を年○回開催し、○○に関する普及啓発を行った。 (第1回：○名参加、第2回：○名参加) ○○地域で○○の仕組みづくりを行い、○○に繋げている。
② 独自性・先進性	(活動における工夫や他の類似の取組との違いなど、独自で実践している内容を記入してください。) 記入例（あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。） ○○を○○している点が最大の特色。 県内(○○地域)初となる○○を実施。 既存の○○に加え、独自に○○を展開、推進。

	取組開始年度	年度～	取組継続年数	年
③ 持続性	(これまでの取組の継続状況、今後どのように持続的に展開していくのか、将来に向けた活動の予定や発展の見込み等を記入してください。) 記入例 (あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。) これまで〇年間にわたり、〇〇を〇回実施。 今後、〇〇〇〇。			
④ 汎用性・波及性	(地域や他企業（団体）への普及状況、普及の範囲や今後の見込みを記入してください。) 記入例 (あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。) 〇〇を活用するため、〇〇するうえで大いに汎用性がある。 また、〇〇は多くの企業（団体）で〇〇ことから、大いに波及性がある。 引き続き（今後）〇〇していきたい。			
⑤ 連携・協働	(地域や広域的な連携および他主体との連携状況、今後の見込み等を記入してください。) 記入例 (あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。) 〇〇団体と連携し、地域の〇〇イベントに参加。			
その他 (該当があれば)	(上記のほか、活動の成果や、活動についてアピールしたいポイントなどを自由に記入してください。)			
備考 (該当があれば)	(添付資料名等を記入してください。) 記入例 (あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。) 【別添1】 〇〇.xlsx 【別添2】 〇〇.pdf 〇〇リーフレット			

注 取組のアピールポイントを具体的に記載してください。

記入欄が足りないときは、欄を追加して記入することや、図表や資料または写真を添付することができます。

(ただし、当応募書（添付資料を除く）は4頁までとします。)

また、必要に応じて、追加資料の提出をお願いする場合がございますので、予めご了承ください。

「しが CO₂ ネットゼロみらい賞」
(地域づくり部門 個人用) 応募書

CO ₂ ネットゼロ推進課使用欄		
受理	年	月 日
番号		

記入日 令和 年 月 日

(宛先)

滋賀県 総合企画部 CO₂ ネットゼロ推進課提出者 (自薦 ・ 他薦) ※ 選択ください

住所 〒○○○-○○○

滋賀県○○○○○○○○

氏名 ○○ ○○

「しが CO₂ ネットゼロみらい賞」に下記のとおり応募します。

1 応募者について

氏 名	○○ ○○		
住 所	〒		
連 絡 先	電 話 番 号	○○○-○○○-○○○	
	FAX 番号	○○○-○○○-○○○	
	電子メール	○○○@○○○○○○○	
主な活動地域			
ウェブサイト SNS など			
「しが CO ₂ ネットゼロムーブメント」 の取組への賛同状況		下記の該当欄に○をつけてください。	
		賛同済み	賛同手続中
これまでの受賞歴 (該当がある場合)	なし		

要件等 チェック欄	☐ CO₂ネットゼロ社会づくりを推進するための、環境学習・普及啓発等の取組です。 ☐ 過去に同賞および「滋賀県低炭素社会づくり賞」、「しが発低炭素ブランド認定」の受賞・認定歴がない事業所、もしくは、前回の受賞・認定内容以外の取組において応募するものです。 ☐ 以下のいずれにも該当しません。県が必要と認める場合には、滋賀県警察本部に照会することを承諾します。 ア 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。イにおいて「暴対法」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。） イ 暴力団員（暴対法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。） ウ 自己もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を与える目的をもって、暴力団または暴力団員を利用している者 エ 暴力団または暴力団員に対して資金等を供給し、または便宜を供与する等直接的もしくは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、または関与している者 オ 暴力団または暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者 カ アからオまでのいずれかに該当する者であることを知りながら、これを不当に
--------------	--

2 応募内容（活動実績）について

活動の名称			
活動の アピールポイント (キャチコピー) 等	記入例（あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。） 〇〇を活用した〇〇の推進		
① CO ₂ ネットゼロ 社会づくりへの 貢献	(しがCO₂ネットゼロ社会の実現に向けて、どのように貢献しているかという視点から、実践的な活動の期間および範囲等具体的な活動内容、実施頻度や参加人数などを記入してください。) 記入例（あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。） 〇〇を年〇回開催し、〇〇に取り組んだ。 (第1回：〇名参加、第2回：〇名参加) 〇〇（学校、自治会など）で〇〇を呼びかけ、〇〇に繋げている。		
② 独自性・先進性	(活動における工夫や他の類似の取組との違いなど、独自で実践している内容を記入してください。) 記入例（あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。） 〇〇を〇〇している点が最大の特色。 既存の〇〇に加え、独自に〇〇を展開、推進。		
	取組開始年度	年度～	取組継続年数 年
③ 持続性	(これまでの取組の継続状況、今後どのように持続的に展開していくのか、将来に向けた活動の予定や発展の見込み等を記入してください。) 記入例（あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。） これまで〇年間にわたり、〇〇を〇回実施。 今後、〇〇〇〇。		

④ 汎用性・波及性	(地域や他企業（団体）への普及状況、普及の範囲や今後の見込みを記入してください。) 記入例（あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。） 〇〇を活用するため、〇〇するうえで大いに汎用性がある。 また、〇〇は多くの企業（団体等）で〇〇ことから、大いに波及性がある。 引き続き（今後）〇〇していきたい。
⑤ 連携・協働	(地域や広域的な連携および他主体との連携状況、今後の見込み等を記入してください。) 記入例（あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。） 〇〇（団体等）と連携し、地域の〇〇イベントに参加。
その他 (該当があれば)	(上記のほか、活動の成果や、活動についてアピールしたいポイントなどを自由に記入してください。)
備考 (該当があれば)	(添付資料名等を記入してください。) 記入例（あくまで例示ですので、内容に応じて記載ください。） 【別添1】〇〇.xlsx 【別添2】〇〇.pdf 〇〇リーフレット

注 取組のアピールポイントを具体的に記載してください。

記入欄が足りないときは、欄を追加して記入することや、図表や資料または写真を添付することができます。

（ただし、当応募書（添付資料を除く）は4頁までとします。）

また、必要に応じて、追加資料の提出をお願いする場合がございますので、予めご了承ください。